

# NICE SMILE

2015  
春  
VOL.61

地方独立行政法人 りんくう総合医療センター●院外・院内広報

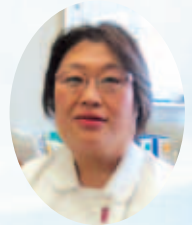
発行・責任者：広報誌編集委員会委員長 森朝 紀文 / 〒598-8577 大阪府泉佐野市りんくう往来北2番地の23 TEL072-469-3111(代) FAX072-469-7929  
http://www.rgmc.izumisano.osaka.jp/



表紙写真

りんくう教育研修棟・泉州南部卒後臨床シミュレーションセンター【サザンウィズ】

詳しくは  
6ページ



## ご挨拶

副病院長 兼 看護局長 藤野 正子

このたびは定年退職をされました増田副病院長兼看護局長の後任として、この4月1日付けで就任しました藤野正子でございます。1997年7月に看護師長として入職し、2001年に副看護局長兼ゼネラルリスクマネジャー、2005年には医療安全管理室が設置され、副室長として安全管理者の育成と医療安全管理に従事し、副看護局長としては看護局長の補佐をしてきました。現在、これまでの職務との違いを痛感しながら、より質の高い看護を提供したいという歴代の看護局長の思いを引き継いでいく重責を感じております。

キーパーソンとなりたいと考えています。このことから、理念とそれを実現するための方針を次のように致しました。

### 看護局理念

- 1、地域の基幹病院として、急性期、救急、災害の医療ニーズに対応できる質の高い看護を提供します。
- 2、患者さまとのパートナーシップを大切にし、その人らしさを尊重したケアを実践します。
- 3、専門職業人としての倫理観と責任をもち、能力の維持・開発に努めます。

### 看護局方針

- 1、患者およびその家族のQOL向上を目指す
- 2、科学的根拠に基づいた看護実践と、人への配慮ができるケアを努力します。
- 3、看護の専門性を発揮し、他職種とともにチーム医療を担います。
- 4、社会の変化に柔軟に対応でき、向上心を持った自律した看護師を育成します。

また、患者さまに良い医療を提供するためには、働くものが心身ともに健康でなくてはなりません。職場環境をさらに見直し、働きやすい環境を作りにも努力したいと考えています。

微力ではありますが精一杯努力して参りますので、ご協力よろしくお願い致します。

当センターは地域の基幹病院として地域の医療機関と連携をしながらその役割を果たすことが必要です。看護師もまたその役割を担わなければなりません。また、私たち看護師は患者さまのニーズに添えるだけでなく、行為が患者さまやご家族にとって、ためになるかどうかを判断し、患者さま自ら積極的に医療に参加できるように支援したいという思いがあります。しかし、病院を受診される患者さまが、病気を治し、または自宅での療養を、住み慣れた地域に戻り安心して生活できるためには医師や看護師だけの力ではできません。医療をチームで行う時代となり、薬剤師、栄養士、リハビリ、ケースワーカーなどの多職種と看護師が協働するチーム力が求められています。看護師は24時間患者さまの一番そばにいる強みを活かす、このチームのなかのリーダーではなく、

### CONTENTS

「ご挨拶」 副病院長兼看護局長 藤野 正子	1	部署紹介「感染症センター」「リハビリテーション科」	4
理事長メッセージ / 新入職員紹介	2	連携施設紹介「里神内科」「東歯科医院」	5
新入職員紹介	3	「りんくう研修棟完成」/TQM大会/新入職員歓迎会/編集後記	6

# 平成27年度の展望

## ～地域連携から地域協働へ～

### 理事長メッセージ

平素からりんくう総合医療センターの診療・運営には多大なご支援とご理解を賜り、心から御礼申し上げます。

平成27年度は、出上がつたばかりのりんくう教育研修棟3階大会議室で行われた110余名の新規採用職員に対する辞令交付式と研修、そして歓迎会などの行事でスタートしました。近年の医療の進歩と変遷、それに伴う職員増などにより、当センターの建物が少し手狭になりつつある状況でしたので、新しく広い部屋の中で、新規採用職員のみならず全ての職員の顔が輝いているように感じました。

この建物の2階部分には若手医師をはじめ、泉州南部地域のこれからの医療を支える医療従事者の育成を目的として、泉州南部卒後臨床シミュレーションセンター(サザンウイズ)を設置し、様々な分野の高度なシミュレーション機器を常備しています。300余名を収容可能な3階会議室と共に、この地域の医療専門職が集い、共に学べる場として皆様方に大いに活用していただければ幸いです。

さて、昨年6月には医療介護総合推進法が成立し、10月には病床機能報告制度が開始されています。今年3月には地域医療構想策定ガイドラインが公表され、今年度は府による地域医療構想策定作業が進められるものと考えられます。消費税率10%への引き上げは平成29年4月に延期されましたが、厳しい内容が予想される平成28年の診療報酬改訂が控える中、時代の要請により地域包括ケア体制を整備し、地域の医療・介護システムが変貌する大きな転換期を迎えようとしています。

泉州南部地域は従来から積極的に地域連携を促進・展開してきた地域ですが、この歴史的な転換期に地域として対応するため、「連携」の概念からさらに一歩進めて、日頃の診療から人材育成まで「協働」するという概念をイメージし、今年度は「地域連携から地域協働へ」向かう第一歩の年になればと考えております。

今後とも、皆様方のご理解とご協力をお願い申し上げます。

地方独立行政法人  
りんくう総合医療センター 理事長

八木原 俊克



### 新入職員紹介

#### 医師

- ① 意気込み
- ② 趣味
- (休日の過ごし方)

#### 総合内科・感染症内科

##### ■藤岡 研(副医長)

- ① 元気のよいあいさつから頑張っていると思えます。
- ② バイクでツーリング、海外旅行、手品

#### 血液内科

##### ■鳥野 隆博(診療局長兼部長)

- ① 移植医療を含め、良質の医療を提供していきたいと思っています。
- ② 趣味：ガーデニング、休日の過ごし方：岸和田祭りに向けてのトレーニング

##### ■佐多 弘(医長)

- ① 少しでもお役にたてるよう、頑張ります。
- ② 面白い物など

#### 腎臓内科

##### ■高山 東仁

- ① 地域に根付いた医療を提供できるよう、邁進していきます。
- ② 趣味：お酒、休日の過ごし方：子供と遊ぶ

#### 循環器内科

##### ■河合 努

- ① 皆さんのお力になれるよう、頑張ります。
- ② 趣味：ドライブ、休日の過ごし方：昼寝

#### 外科

##### ■大久保 恵太(副医長)

- ① 肝胆脾外科を担当します。迅速な対応を心がけますので、宜しくお願い致します。
- ② 趣味は、美味しいものめぐり、スキー、ピアノ、ゴルフ。休日は家族との時間を大切にしています。

##### ■横田 純己

- ① フットワークを軽くして頑張っています。
- ② 趣味は楽器演奏です。ウツドベースやピアノを弾いています。JAZZが好きです。

#### 整形外科

##### ■岡田 倫太郎

- ① ご迷惑をおかけするかもしれませんが、よろしくお願いします。
- ② amazonで買い物をする

##### ■恵谷 悠紀

- ① 頑張ります。やります。
- ② 家でだらだら。飲み歩き。最近ロードバイク始めました。

#### 形成外科

##### ■石原 崇圭

- ① まだまだ知らないことも多くご迷惑おかけするかとありますが、頑張ります。
- ② 部活のOBで時々バンドをやっています。

#### 脳神経外科

##### ■中津 大輔

- ① 一所懸命頑張ります。
- ② 趣味は旅行・スキー、休日は買い物

#### 心臓血管外科

##### ■鎌田 創吉(医長)

- ① 極め細かい配慮ができるよう、精進します。
- ② 食べること

#### 小児科

##### ■木村 幸嗣

- ① ご迷惑おかけすると思いますが、一生懸命頑張りますので宜しくお願い致します。
- ② 趣味：野球、ゴルフ、旅行

#### 産婦人科

##### ■北井 俊大(副医長)

- ① 泉州地域の母児のため、精一杯がんばります。
- ② 趣味：ドライブ、休日の過ごし方：食べ歩き(体重増加中)

#### 産婦人科

##### ■前中 隆秀

- ① 人一倍楽しみなが頑張ります。
- ② 読書、入浴、家族サービス

#### 麻酔科

##### ■神移 佳(医長)

- ① 安全で安心できる医療を提供できるように頑張ります。
- ② 登山

#### 産婦人科

##### ■伊原 正幸

- ① 色々とご迷惑をおかけすると思いますが、よろしくお願致します。
- ② 趣味は旅行・スキー、休日は買い物



よろしく  
お願致します

救命診療科

■加藤 隆宏(医長)
①成人と同様に小児も救命する。
②家族でゆったりと

■合田 杏佑

①重症、救命診療をしつかり学んでいき、泉州の患者様のために一生懸命頑張つて参ります。
②楽器演奏、ウインドサーフィンをやっていました。家族ができてからは子どもと遊んでいます。

■文野 裕美

①いっぱい手術したいです。
②ヨガをしてゆつくり過ごしたいですが、3人の子供達とじゃれあっています。

■野間 貴之

①救急医になるべく、一生懸命頑張ります。
②音楽が好きです。

■井手 亮太

①外傷を学びたく泉州に来ました。全力で頑張つていきます。よろしくお願ひします。
②読書、ドライブ、お酒

■山田 淑恵

①明るく毎日頑張ろうと思ひます。何卒よろしくお願ひします。
②写真を趣味にしようとかメラを新調しました。集合写真撮影等、お気軽にご用命下さい。

■安全 優

①未熟者ですが、がんばります。
②レザークラフト、寝る

■鄭 賢樹

①精一杯頑張ります。
②ダイビング、山登り研修医

研修医

■木本 優希

①持ち前の好奇心でこれから様々なことを吸収していきたいと思ひます。
②旅行の計画を立てるのが好きで、地図をよく見ている。たまにぶらつと遠出をします。

■中村 杏子

①楽しいことばかりではないかもしれませんが、笑顔で毎日頑張ります。
②趣味は、ハンドボールとフットサル。

■西村 俊輝

①初めての一人暮らしで緊張していますが皆さんに助けをいただけて日々成長できた、とおもいます！
②クライミングです！室内のものから本物の岩まで手広くカバールしています！興味のある方はぜひ一緒に行きませんか？

■米光 健

①ゴリゴリ頑張りますので、ゴリゴリしばいて下さい!!
②テニス(軟式)

■榊原 聡

①ご迷惑をお掛けすると思ひますが、精一杯頑張りますのでよろしくお願ひ致します。
②趣味は映画鑑賞と運動することです。趣味を共有できる仲間をつくりたいです。

■待場 優里

①幅広く多くのことを学

びたいです。元気に頑張ります。よろしくお願ひします。

②趣味：テニス、おいしいものを食べる

休日の過ごし方：散歩、スーパー銭湯が楽しみです！

■森山 榮治

①救急、脳外、整形に興味があります。できるだけ多くのことを研修生活で学びたいです。よろしくお願ひします。
②サッカー、旅行、映画が趣味です。時間が空くととりあえず外に出て、楽しいことを探してフラフラするタイプです。

助産師・看護師

中央手術室

木原明日香、谷山 建作、藤井 李佳、村井田有里、角谷 味文、熊谷 愛、橋本亜莉沙、福田菜見子

ICU/GCU病棟

池淵 美甫、瀬谷 彩乃、新城 遥菜、田頭 百華、高松 由依、竹川 眞未、田中 優作、細川 直樹、宮崎まどか

5階海側病棟

石井 佑貴、石倉 沙彩、着本 沙紀

6階海側病棟

NICU/GCU病棟

河野 恵子、若本 佳美

6階山側病棟

鯉下 奈美、畑下 友里、山本 果歩

7階海側病棟

射手矢俊輔、徳永 美咲、橋本ひとみ

7階山側病棟

岩倉 沙季、栗山有裕美、松本 幸花、山内 愛美、山崎 玲奈

8階海側病棟

小畑美沙希、真珠 未稀、樋川 正仁、中瀬 摩徳、中村 弥由、橋本屋陽子

8階山側病棟

太田 咲、刀谷 阿友、川南 春愛、中川 早希、中谷 有可、藤田 有可

救命初療/手術室

大倉 太一、大西 麻紀、中村 彩

救命ICU

井端 英貴、大迫 有紀、菅野 圭、北治 晃司、小治 愛理、田中 央子、辻前 真規、中前 茂子、木曾 詩織、小西さち乃、前田 幸子

看護助手

都留 真紀、中原 雅則、永吉 里美

看護管理室

医療技術員

耳鼻咽喉科 (言語聴覚士) 佐々木 美奈、リハビリテーション科 (理学療法士) 貴志 悠矢、田中 涼、馬部 良美、前山 啓介

放射線技術科

(診療放射線技師) 伊東 大佑、(臨床工学技士) 森田 庸介、西川 祐樹、西川 敏功

臨床工学技士

藤原 まどか

事務員

吉岡 愛里子、高橋 富廣(係長)、近藤 晨吾、山岸 和祥(補助者)、細田 亜里

医療相談室

(医療事務相談員) 西村 薫

ご挨拶

診療局次長兼血液内科部長 烏野 隆博

4月から診療局次長兼血液内科部長として勤務しております烏野隆博と申します。大阪府立成人病センター・八尾市立病院で血液内科医・腫瘍内科医として抗がん剤治療に携わってきました。福島健太郎先生、佐多弘先生の常勤3名、非常勤2名でもって泉州地区の血液疾患診療の拠点となるべく鋭意努力していくつもりでございます。趣味はガーデニング、好きなのは岸和田だんじり祭りで、現役で参加中です。ガーデニングとだんじり、静と動を併せ持った熱き医師です。どうぞ宜しくお願ひ致します。



部署紹介①

# 感染症センター

感染症センター長 倭 正也



◆病棟構成

床面積：613.40 m<sup>2</sup>  
 病床数：10床（高度安全病床：2床、1種感染症病床：2床、2種感染症病床：6床）

◆設備上の特色

感染症病室 8床（1床室：2室「1種」、2床室：3室「2種」）  
 各室前室・洗い・シャワー付き  
 各室陰圧(3～5mmAq)  
 共用排気処理  
 ヘパフィルターを通して排気  
 排水は塩素滅菌槽で処理後排水

高度安全病室 2床（個室）  
 各室前室・洗い・シャワー付き  
 ナースステーションとの双方向テレビモニター設備  
 前室陰圧(5mmAq)  
 病室陰圧(10mmAq)  
 清浄度クラス10,000  
 各室独立した排気ファンを有し、  
 3重のヘパフィルターを通し紫外線滅菌後排気  
 排水は高圧蒸気滅菌槽で滅菌後排水

感染症センターは、輸入感染症の国内侵入を阻止するため関西国際空港対岸のりんくうタウンに建設されました。

担当地域や関西空港検疫所で診断された2類感染症患者の入院治療を行うほか、まだ我が国ではほとんど経験のない1類感染症や未知の感染症である新感染症についても入院治療可能な特定感染症指定医療機関としての設備を備えています。

感染症センターは府立泉州救命救急センター\*1と共に泉佐野市立感染症センターとして建設され、関西国際空港が開港した平成6年9月より稼働しています。平成9年10月市立泉佐野病院\*2の新築移転に伴い、市立感染症センター、府立泉州救命救急センターと共にりんくう総合医療センターとして総合的に運用されることとなりました。

平成11年4月感染症新法の施行に伴い、当センターは1種および2種感染症指定医療機関の他、未知の感染症についても収容可能な当時としては我が国唯一の特定感染症指定医療機関に指定されました。同時に市立泉佐野病院\*2の管轄下に移行、現在に至っています。

\*1 現：大阪府泉州救命救急センター  
 \*2 現：りんくう総合医療センター

大型滅菌装置  
 ホルムアルデヒド消毒装置  
 高圧蒸気滅菌装置

検査室  
 安全キャビネット  
 高速冷却遠心分離機  
 電気恒温槽



2014年11月  
 エボラ出血熱搬送訓練の様子

部署紹介②

# リハビリテーション科

リハビリテーション科医療技術科長 藤野文崇

今回は、リハビリテーション科を紹介させていただきます。

リハビリテーション科は医師1名、理学療法士18名、作業療法士7名、言語聴覚士3名、事務員1名の30名となりました。数年前に比べると多くのセラピストが就職し多くの人員が配置された部署となりました。

依頼科は脳神経外科、整形外科、循環器内科、心臓血管外科、外科、救急科、内科、血液内科、泌尿器科、呼吸器外科、耳鼻咽喉科など多くの診療科の先生方からリハビリテーションの指示を頂けるようになりました。このように、整形外科、脳神経外科が中心であったリハビリテーションも近年では心臓リハビリテーション指導士、呼吸療法認定士、糖尿病療養指導士、がんのリハビリテーション研修など資格もされており、リハビリテーションの領域も多様化し発展してきていると実感しています。さらに、当院では救命救急センターでのリハビリテーションなどリハビリテーション領域では、まだまだ研修制度が不十分な領域でのリハビリテーションも実施しています。また、当科での実施をもとに各専門領域の学会、研修会で発表を行いながらリハビリテーションの効果についての検討も行っています。

多様化されたリハビリテーションの提供においては個々のセラピストの努力も必要ではありますが、医師や看護師の方々との情報共有やディスカッションは不可欠な状況となっております。昨年度



は診療科の先生方のカンファレンスや回診に参加させて頂く取り組みを開始してきました。今年度は、病棟のカンファレンスへの参加もさせて頂きたいと考えており、他の部署の方々との多くの情報を共有し安全に積極的なリハビリテーションを提供したいと考えています。半数以上のセラピストが10年未満と経験の浅いセラピストが多く皆様のご協力のもと多くの多くの経験をし、多くの事を学んでいる途中ですので今後ともご指導のほど宜しくお願いいたします。

### りんくう医療ネットワーク 連携施設の先生のご紹介

連携施設の先生をご紹介します。当院では、「かかりつけ医」と連携し、地域ぐるみで質の高い医療サービスを推進しています。

## 医療法人永慶会

# 里神内科

さがみ ないか

里神 永一 院長



【所在地】大阪府阪南市鳥取658-3

【TEL】072-472-5355 【FAX】072-488-7872

【診療科目】内科、消化器科、リハビリテーション科、放射線科

【受付時間】午前8:45~11:30 午後17:00~18:30

	月	火	水	木	金	土	日
午前	○	○	○	○	○	○	—
午後	○	—	○	—	○	—	—

当院は平成2年7月に糖尿病、生活習慣病を専門領域とした医院として開業いたしました。南海本線「鳥取ノ荘駅」の駅前すぐの場所に立地しております。

日本内科学会認定医であり、日本糖尿病学会専門医としての認定も受けております。一般の内科疾患や、日常生活の中でも身近な糖尿病や生活習慣病に対応しております。

特に糖尿病は現代の日本人に密接な疾患の一つとなっており、ほとんど全ての代謝系に異常を来します。有効な治療手段が行われるなどすると、代謝異常は改善しますが、軽度であれば症状はほとんど表れず、患者様自身も糖尿病の存在を自覚されません。糖尿病による代謝異常を長期間放置されると、多くの臓器にも異常を来します。網膜や腎臓を代表とした臓器の合併症は細い血管の異常という点で共通しています。そのまま放置して異常が進展しますと、視力障害・腎

不全・下肢の壊疽など、重篤な結果に至る可能性もあります。さらに、全身の動脈硬化が進みますので、冠動脈や脳動脈に影響し、心筋梗塞や脳梗塞の原因となります。糖尿病が原因で生命の危険となるような症状を起しうるのです。

当院は今年の7月で開業25周年を迎えます。看護師を含めスタッフは開業当時よりほぼ変わっておりません。今後も25年間で培ったチームワークを活かし、基幹病院であるりんくう総合医療センターと連携しながら、一般診療とともに、地域の生活習慣病や糖尿病予防・改善に貢献していきたいと考えております。



## 東歯科医院

ひがし しか いいん

東 寛 院長



【所在地】大阪府泉南郡熊取町大久保中1丁目16-8

【TEL】072-453-5566 【FAX】072-453-5566

【診療科目】歯科

【受付時間】午前 9:30 ~ 12:30 午後 14:00 ~ 19:00

※土曜午後は 17:00まで

	月	火	水	木	金	土	日
午前	○	○	○	—	○	○	—
午後	○	○	○	—	○	○*	—

当院は昭和57年4月に現在地に開設し、地域に密着したホームデンティストをめざして診療してまいりました。りんくう総合医療センターが開設されると同時に口腔外科が設けられた事は、開業歯科医にとっては大変ありがたく、また心強い存在であります。特に大前先生が赴任されてから本当にお世話になっております。

私は団塊の世代のトップバッターですので、患者さんも、かなり高齢化してまいりました。若い方と違って感染のリスクが高いのでケアを必要とする人も日常的に増えてまいりました。歯科疾患はあきらかに感染症ですし、最近、糖尿病にしても、心筋梗塞にしても口腔内細菌との関連性が明らかになり益々ケアの重要性が増しています。

今後高齢化が進めば、歯科医療が診療室のみの医療にとどまらず、在宅での医療がどうしても増えてくると思われれます。出かけて行って出来る医療行為は限られますが、口腔内を清潔に保ち口から物を食べられるようにすることで生活を支えることが大事です。これからも様々な職種の方と連携しながら地域の歯科保健に貢献してまいりますので、ご指導よろしくお願い致します。



# りんくう教育研修棟

## 泉州南部卒後臨床 シミュレーションセンター 【サザンウィズ】完成



副病院長・サザンウィズセンター長 松岡 哲也

りんくう総合医療センターの隣地に昨年来建築を進めてきました「りんくう教育研修棟」が完成し、去る平成27年2月1日竣工式典が盛大に開催されました。

教育研修棟は3階建てで、3階部分は会議室スペースとして使用し、最大300名強を収容できる大会議室を有しています。



2階部分は、大阪府地域医療再生計画事業の泉州南部公立病院機能連携推進基本構想に基づき、初期・後期研修医から卒後10年目程度の若手医師をはじめ、泉州南部地域の医療を

支える医療従事者を育成することを目的として、「泉州南部卒後臨床シミュレーションセンター」をオープンしました。ここには、基金を活用して高性能のシミュレーション機器等が備えています。「泉州南部地域の医療従事者が集い共に学ぶ場」という意味も込めて、呼称を「サザンウィズ」としました。

教育研修棟竣工式ならびにサザンウィズ内覧会には、当地域の医療に関わる多くの方々にご臨席いただき、皆様の期待の大きさを痛感いたしました。今後は、教育研修棟とサザンウィズの機能を活用して、臨床技能の習得ならびにチーム医療の充実を図る幅広い研修機能を提供することにより、泉州南部地域全体の医療水準の向上と地域連携の強化に寄与して参ります。



### 新入職員歓迎会

平成27年4月3日、新入職員歓迎会を開催しました。

歓迎会では、研修医の皆さんの自己紹介や各部署の紹介ビデオの上映が行われ、新入職員の皆さんと親睦を深めることができました。

新たな仲間を迎え、今後とも職員一同、よりよい病院を目指し、邁進いたします。



### TQM大会

Total Quality Management

病院では様々な職種がチームを組み、患者・家族の皆様へのサービスの向上、日常業務の効率化・改善に現場の視点を活かし取り組んでいます。

その成果の発表会として、平成27年2月27日、第14回TQM大会が開かれました。

各チームそれぞれが、創意工夫をこらしユーモアも交えながら、活発な口頭発表とポスター発表を行いました。厳正な審査の結果、優秀チームは表彰されました。



### 編集後記

私が子供のころは5月の子供の日が近づいてくると色々な所で鯉のぼりを見ることができました。大きな鯉のぼりを見るとなぜかうれしい気持ちになったのを覚えています。今考えるとなぜ鯉のぼりを揚げていたのかと不思議に思ったので調べてみました。時はさかのぼり江戸時代、日本では、将軍に男の子が生まれると家紋のついた旗やのぼりを立てて祝う風習がありました。これが武家に広がり、男の子が生まれた印としてのぼりを立てるよう

になります。町人の中で鯉の滝登りで立身出世のシンボルとなった鯉をのぼりにするアイデアがうまれました。こうして武家ののぼりに対して、町人の中で鯉のぼりが揚げられるようになり、端午の節句に欠かせないものとなっていったようです。うーんなるほどとさせていただけたでしょうか。次号は夏頃を予定しています。気候のいいこの時期を楽しくお過ごしください。

検査科 米本 隆浩

人権標語 「人権はみんなが持つもの守るもの」

